

ギャップを埋め、世界の技術を日本市場へ運ぶ

ジャパンマシナリー株式会社は、海外の先進技術と日本の製造業を結びつける役割を果たしてきた。

「グローバルな卓越した製造業へのアクセスを可能にすることが使命」

ジャパンマシナリー株式会社は、64年にわたりディストリビューターおよびメーカー代理店として、海外の卓越した技術を日本市場に導入し、その逆も実現してきた。この取り組みにより、日本の大手メーカーはもちろん、新興の中小・ベンチャー企業とも良好な関係を築いてきたのだ。

小泉社長は「単に商品を紹介するだけでは不

十分なのです。技術サポートやメンテナンス、点検、修理、交換、そして消耗品やスペアパーツの供給など、顧客向けの包括的なサービスが、今日の商社の成功の鍵になります」と強調する。

同社の強みの一つは、広範なネットワークを活用し、世界的な進歩に関する最新情報を入手する能力にある。

国際的な協力は不可欠だが、同社は主に輸入業者として活動し、海外の技術を日本に導入することを重視している。

「羽田空港の近くに位置しているため、欧米企業にとって非常に便利であり、アジア市場への進出も視野に入れている」と小泉氏は言う。

さらに、メインの営業所とは別に、倉庫とロジスティクスの拠点となるテクニカルセンターを設け、潜在的な顧客や既存のバイヤーに対して製品やサービスのデモンストレーションを行っている。

小泉氏は「視覚的に製品やサービスの可能性を示すことが、非常に効果的である」と語り、同社の熱意を強調するとともに、日本の産業サプライ・チェーンへの継続的な貢献を約束した。



ジャパンマシナリー株式会社 代表取締役社長 小泉 知広



ジャパンマシナリー株式会社
JAPAN MACHINERY COMPANY

www.jmc.asia



展示会